

特殊車両に対する運転支援

桔梗ヶ原病院
リハビリテーション部

野々村亮汰, 須田広樹, 佐藤理恵, 松塚翔司, 園原和樹

はじめに

一定の病気等を来した後、バイクやトラック(以下、特殊車両)の運転再開を希望する患者が存在する。しかし、特殊車両の運転再開について明確な基準が示されておらず、医療機関での特殊車両の運転評価法が明確化していないことが課題である。

目的

2015年3月から2019年4月
の間に当院で特殊車両の
運転再開が可能となった8
症例について報告する。

対象

- 疾患：脳出血 2名、脳梗塞 3名、外傷性くも膜下出血 3名
- 年齢：62.9±10.3歳（42～72）
- 性別：男性 7名
女性 1名
- 麻痺：なし 7名，左麻痺 1名

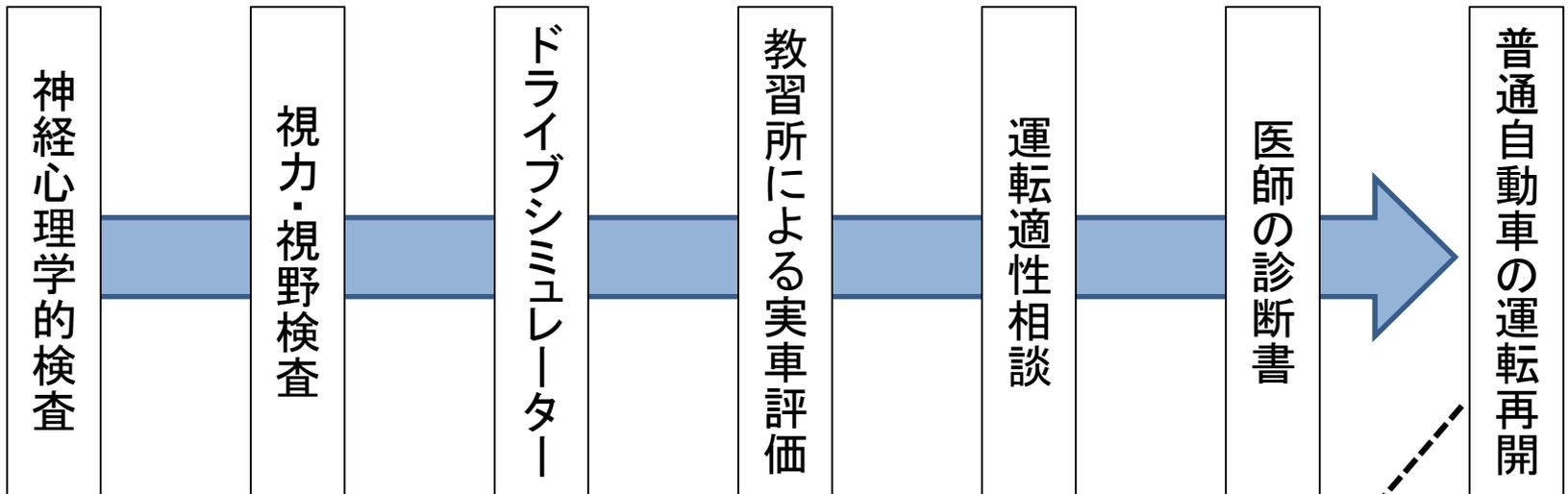
神経心理学検査結果(退院時)

TMT	A	B
平均	78.1 ± 12.7	146.7 ± 26.0

CAT(CPT)	SRT	X	AX
平均	321.1 ± 65.1	438 ± 37.5	426.6 ± 61.2

特殊車両の運転再開の流れ

入院



平均154日

外来



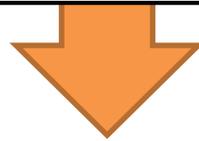
平均104日

運転再開された特殊車両

- 電動機付自転車 2名
- バイク 1名
- トラクター 2名
- 大型自動車 3名

要旨

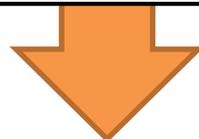
特殊車両を運転するためには運転に直接関与する機能のみならず、一定のコミュニケーション技能を含む高い遂行機能や身体能力が求められる



普通自動車を運転し、事故がないことを確認したうえで、健常者と同様の運転能力があると判断



教習所による特殊車両の運転評価を実施



運転再開